



3は、表-3に基づく累積総運搬土量を示す。図-2, 3, 表-3中の点線は、経験豊富な技術者が従来の方法により手作業で作成した計画である。SOTによる結果は、図-2, 3上部に示す機械搬入搬出期間の制約のもとで得られた結果である。表-2に示すように、月当り稼動日数率が各月ごとに大きく変化するから、資源の搬入搬出を各月ごとに行うことにしてSOTを適用すると、資源存置数量が各月ごとにかなり変動する。図-2, 3に示すような適当な資源搬入搬出制約期間を与えることにより、現実的に妥当な施工段取が得られる場合が多いようである。

#### 4. あとがき

上述の資源搬入搬出制約期間の与え方や、数値計算モデルの適切な設定方法に関する種々の比較検討を行い、SOTを実際の業務で有効に利用するための指針を明らかにした。これらについては当日報告する。

#### 参考文献

- 1) 庄子・荒井、土木学会論文報告集、No.214, pp. 57~70(1973), 2) 同上、土木学会論文報告集、No.215, pp. 61~74(1973), 3) 同上、土木学会論文報告集、No.230, pp. 55~67(1974), 4) 同上、土木学会第29回年次学術講演会概要集(4) pp.232~233(1974), 5) 平田・景山・中沢、鹿島建設技術研究所年報、Vol.19, pp. 209~215(1972)

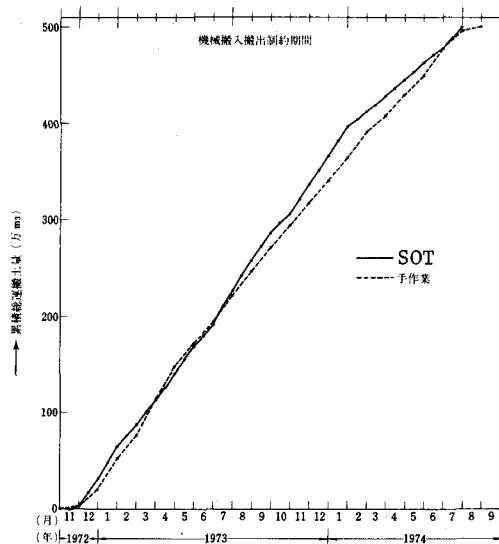


図-3 累積総運搬土量

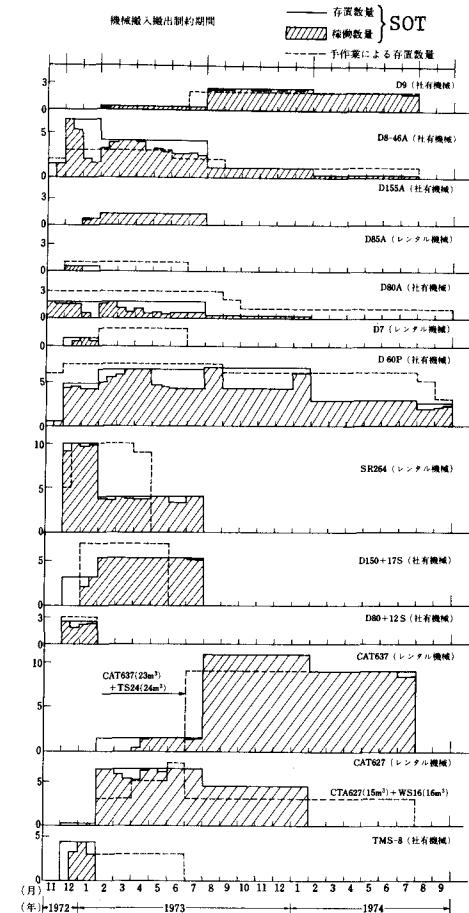


図-2 資源存置数量と稼働数量

機械名	機械搬入搬出制約期間	月別稼働日数率											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
D9 (社有機械)	1月~12月	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
D8-46A (社有機械)	1月~12月	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
DISSA (社有機械)	1月~12月	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
D85A (レンタル機械)	1月~12月	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
D80A (社有機械)	1月~12月	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
D7 (レンタル機械)	1月~12月	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
D60P (社有機械)	1月~12月	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
SR264 (レンタル機械)	1月~12月	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
D150+17S (社有機械)	1月~12月	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
D80+12S (社有機械)	1月~12月	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
CAT637 (22m³)	1月~12月	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
+TS24 (24m³)	1月~12月	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
CAT637 (レンタル機械)	1月~12月	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
CAT637 (レンタル機械)	1月~12月	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
CTA627 (15m³) + WS16 (16m³)	1月~12月	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
TMS-8 (社有機械)	1月~12月	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8

表-3 作業グループ投入数量表